

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

特記事項なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金については、職員に対する賞与に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付については、中小企業退職金共済の積立金をもって職員の退職金とする。

(5) 消費税等の会計処理

税込処理

3 会計方針の変更

会計方針の変更はない

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
兵庫県公募公債 第31回(20年)	205,512,000	0	△ 9,908,000	195,604,000
第159回利付国債 (20年)	76,605,750	0	△ 2,637,000	73,968,750
定期預金	42,203,568	0	△ 2,270,000	39,933,568
合 計	324,321,318	0	△ 14,815,000	309,506,318

・令和4年5月26日 定期預金(指定正味財産)より227万を取崩し運用財産とする。

・年度末の取崩用(定期預金額)は3,601万である。

・残額は定期預金で保有する。

(参考)基本財産としての満期保有目的以外の有価証券

(単位:円)

科 目	額面価格	前年度末評価額 (購入時約定額)A	評価額 (時価) B	評価損益 (B - A)
基本財産 有価証券				
兵庫県公募公債第31回(20年)	200,000,000	205,512,000	195,604,000	△ 9,908,000
第159回利付国債(20年)	75,000,000	76,605,750	73,968,750	△ 2,637,000
計	275,000,000	282,117,750	269,572,750	△ 12,545,000

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
有価証券	269,572,750	266,392,094	3,180,656	0
定期預金	39,933,568	38,933,568	1,000,000	0
合 計	309,506,318	305,325,662	4,180,656	0

6 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

7 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,472,980	1,227,500	245,480
法人会計ソフト	341,000	96,610	244,390
合 計	1,813,980	1,324,110	489,870

8 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券はない。

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
委託料 岩手県臓器移植コー ディネーター設置委託	岩手県	0	6,523,317	6,523,317	0	流動資産及び 一般正味財産
助成金 都道府県支援事業費助成金、 あっせん業務関係事業助成金、 ドナー家族支援事業助成金	(公財) 日本臓器移 植ネット ワーク	0	1,573,855	1,573,855	0	流動資産及び 一般正味財産
合 計		0	8,097,172	8,097,172	0	

11 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金はない。

12 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味残高から一般正味残高への振替額	
公益目的事業会計(取崩)	2,270,000
公益目的事業会計(利息収入)	1,564,911
法人会計(利息収入)	242,520
合 計	4,077,431

13 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

14 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

15 その他

なし